

園所の先生を語る

幼稚園
保育
施設



東京都民生局児童課 秋田美子

東京都教育庁指導課 山村きよ

本誌主幹 倉橋惣三

日時 二月二十五日午後六時

場所 中野 倉橋主幹宅

「春雨にしてはまだ冷い細雨が降っている。ガスストーブのも
えている室、一隅の小卓に、雪柳が小さい花を集めてスタン
ドの灯にほんのりと白く浮んでいる。」

倉橋 きようは遠いところを、おまけに雨降りのところを
ワザ／＼お出で願つて本当に恐縮でした。きようの座談会と
いうか、鼎談会というか、お話の内容は保育者の問題、すな
わち幼稚園と保育所の先生の問題、これについて語り聞くと
いうか、聞き語るというか、四角ばらない気持で話しあつて
みたいと思うのです。宅ですから、いつも遊びに来て下さる
時と同じにくつろいで。

幼稚園といわず、保育所といわず、そこに働いておられ
る先生方の色々な御苦労——精神的に又肉体的に色々な御辛
労は、全く「御苦労さまですー」という外はない。意義深いと
か、尊いとかいうことは素よりとして、何よりも、先づ真
実「御苦労様」と感謝する外はない。そういうた保育施設の
先生方の御苦労は、こゝに御出で願つた御二人が最もよく御
存知のことです。その御苦労に対する感激というか、いたわ
りというか、そういう気持をもとにして、現在施設における
先生方の仕事の量の問題、勤務時間の問題、大きい小さい雑
多の用にどれ程の時間がとられるか、子どもの母達と会う時
間がどれ位であるか、又一人の先生がどれ位の幼児を世話す
るのか、これは場所によつて違ふでしょうが、全国の幼児数
を施設の数でわつた一応の平均数を考えて一人の先生が何人

の幼児を受持つて、それが精神的、肉体的にどういう重量になるのか、次には又それ程苦勞して、それがどの程度一般社会から、又、保育界全体から、更には施設の内部においてさえ充分むくいられているか、待遇がわるいというようなことがないか、更に又、日々の仕事の量が健康に及ぼす影響はどうか。同時に大変お忙わしい日々を送つておられる間に、人間として、又、その仕事に必然に要求せられる教養と研修が、そう無理をしないで身につけられているかどうか、それから先生方は大抵お若い方が多いのだから、服装の流行というような事にも無関心ではありえないとも思われるが、そういう点についてはどう考え、どう処しておられるのか、又、進んで「リクレーションの問題」もあり、最も大切な問題として先生方の養成の問題があります。養成といつては何だが、いゝ先生になつて戴くために社会が準備しなければならぬこと、現在行われている方法

が正しいかどうか、正しくない点があるとするればどうしたらいいのか、こういうことそれ／＼に就て気がつき憂慮もしていただけること、こうありたいと思うこと、そういう点について、平生多くの先生方の指導の立場におられるお二人に、忌憚のないお話をうかがえたらと思うのです。

とにかくきようは、保育問題の中で先生の問題を話しあいたいのです。幼稚園といふ、保育所といふ、名前はちがつていても、幼児を守り育てるといふ点についてはかわりはない、そこには共通した悩みもよるこびもおありになると思う。現在、幼稚園の先生は、大ざつばな統計で八千五百人程、保育所の方は七千余、計約一万五千六百名おられるが、その先生方が、この御苦勞の多い仕事に働らいておられる。その一万五千なにがしの先生方の、第三者にはわかりつこない、人にいえないわかつてもらえそうもない、御苦勞というものに対する、我々の日頃の気持

をもとにして、これからお話をすゝめて行きたいと思ひます。

まず、秋田さん、保育所の先生方はですね。一休朝から晩まで、どういふ事にどれ程の時間をとられ、どんな御仕事をされているのか、一応わかつてるようなものですが、それを話して下さい。

幼稚園保育所の

先生方の仕事

秋田 倉橋先生が只今仰言つたように、保育所の先生方の一日は、たゞ「忙わしい」という一語が最も適切です。早出の人だつたら、七時にはもう出ていなければいけません。来る子供を迎えて、グループ遊びの準備をする、健康状態の視診をする。それからお母さん方との連絡。九時半頃になりますと大抵の子供が出揃いますが、それからの保育内容は、幼稚園の方とさう差はないと思います。しかし保育所には給食ということがあります。その給食の

準備をしなければいけない。それから今申した健康視診で、工合が悪いと思う子供を発見したら、その治療という事をしなければいけませんし、その中お昼になりますから昼食の世話、そのあとで小さい子供には午睡をさせますから、その午睡の準備、これは子供をねかしつけるに相当時間がかかります。午睡のあとではオヤツがあります。それから子供がかえるまでに、家庭に連絡する帳簿を記入するとか、お母さん方にわたす材料といったもの、その準備をして、子供が一応かえるのは四時から四時半位になります。それからその後、ところによつて色々違うでしょうが、子供の中一〇パーセントから一五パーセント位のがすぐ帰らずに残ります。早くかえしても親たちが仕事から家庭にかえつていないというようなのは、残してみても上げなければいけませんから。その一〇パーセントから一五パーセントの子供が、一応かえつてしまうというのは六時から六時半

位の間、ところによりまして七時位の場合も御座います。こんなに遅くまで残る子供は、数からいえば決して多くはないのですが、本当はそれが問題なのです。「居のこりの子供」といつてますが、保育に欠ける子供を親に代つて保育するという保育所の建前からいえば、これが本当に保育の対象なのです。従前はこういう子供は、保育の例外だと考えてました。しかし本当はこういう子供こそ保育所で真剣にとり上げなければならぬ子供なのです。とにかくこういう子供を、夕方までのしくすごさしてやらなければいけません。その間に掃除がある。事務の整理をしなければいけないといったようなことで、普通は五時までがきまりですが、とても五時にはかえれません。時には泊り込みになる時も決して稀れでは御座いません。

倉橋 今のお話の大筋だけでも大変ですね。その間にいろ／＼とこまかに世話が行届かなくてはならないのでし

よう。いのこりになる子供の家庭は、特に夫々に考えて上げなけりやいけない事情がある事は当然と考えられますが、多かれ少なかれ、凡ての子供にそういつたことがあるはずだ。英国のナーサリースクール法でいつている、ケア・オブ・ですね。私はこれを「小世話」と訳しますが、これが大変なものだろうと思います。

秋田 このごろはそういう事について、子供自身が自分でやるといいうような生活力が出来ましたが……

倉橋 そのところですがね。教育という立場からいえば、自分のことは自分でするというようにトレーニングすべきところだが、実際問題としてはトレーニングというようなことばかりはいつてをれんだろうし……。あれこれと世話をやいていずにはいられない。殊にその世話の必要だけでなく、ケアを通して、愛情がつたわるところに重要な意義がある。教育は屋々冷感だからね。

秋田 そこらを意識しないでやれるようになると一人前です。はじめはどうしたらいいかというような配慮が先に立つてつかれる。

倉橋 何しろ先生方は若い人がおゝいから、母らしさも御無理かな。姉ちゃんはどうも行き届かんからね。心は親切でも。

山村 保育所の先生になるというような人は好きでなるんでしょうが……

秋田 それは勿論そうですけど、子供が好きだというだけではとてもつとまりません。

幼稚園と保育所と

倉橋 世間では、殊にものを垣根の外から立つて見ている人達は、保育所の先生と比べて、幼稚園の先生の方が楽だというような見方がありますが、私は必ずしもそうは考えてないのですけれども、山村さん、これはどう考えますか……、ケーアがあるにしても、ないにしても、愛情というものは何を

したか、しないかという事にはかゝわらぬと私は思うのです。配慮があれば疲れる。

山村 垣根の外から見たら、幼稚園の先生の方が楽だというような見方も一応成り立つかも知れません。勤務時間は大抵九時から四時まで——八時間だし、時間の差だけからいつても楽だと一応はいえましょう。今仰言つたケーアの問題だつて、幼稚園の方は子供を通して家庭の指導をして、母親をそういう風を持つて行くようにするという建前です。ですから爪を切るということとだつて、気がついていてもそれをしてないで、母親を指導して、母親に爪を切らせるように持つて行くという建前で、すから一応冷たいというような感じを持たれるかも知れませんが、その冷たさを知らせぬようにして家庭指導ということをしなければいけない。端的に申しましたら、そんなまわり遠いことを考えないで、自分で切つてやつた方が楽です。数等楽だ。母親からいえば

それに気がついてるんだつたら、注意なんかせずに、先生の方で切つてくれたらいいぢやないかと思うかも知れません。

倉橋 僕なんか概念的になつてゐるいかも知れないが、大体こう考えてます。保育所の仕事は「ケーア」が中心だ。福祉法の精神からいつても、保育にかける子供をあづかるというのが保育所の建前だ。しかし保育所はケーアが中心だからといつて、それですましていては足りないにきまつている。そこで保育所に向つては「子供のあるところ教育あらざるはなし」と僕はいふたいのだ。一方、反対に幼稚園の先生で、幼稚園というところは、たゞ教育の場だと思つてゐる人があつたら、それも大きな間違いだと思う。そこで、こゝでは、前と反対に「子供のあるところケーアあらざるはなし」ともいふたい。ところで山村さん、保育所の先生方は朝早い。一方幼稚園の先生方はどうな

先生方の朝と歸りの時間

山村 これは一時間問題になつたことがあります。幼稚園の先生というものは朝おそいものだというレッテルを貼られた時があります。今は、ことに公立の場合は小学校と殆んど同じです。

倉橋 先生といつたつて、やはり家の娘であり、人の子の親であるという場合が常にある。御遅刻にも御尤もな御理由がございましょう。こないだの「ライフ」誌教育特集号に幼稚園から大学に至るまでの色々なことがのつて

いる。その中で幼稚園の書き出しの中で、何々幼稚園の何々先生は、朝子供が出てくる前に幼稚園に行つていと書きだしてある。それも出勤時間が何時だからとか、公務員法によればどうだとか、いつたことではない。子供が来る前に幼稚園にいて朝の挨拶がしたいからと書いてある。何んでもないことだが、僕はうれしかつた。シンブルなことだがなんという情の籠つた言葉

だろうと思つた。情ばかりない保育の本質的なものがそういう処にあるのですね。

山村 今は大抵子供の来る前に行つてます。

倉橋 サア。……ところで子供によつて、えらく早く来るのがいますね。こういうやたらに早い子供に調子をおわせたら大変なことになる。

山村 保護者に子供があまり早く来ないように注意を与える必要がありますね。

倉橋 人を訪問する時だつて、あまり早く訪問するのは先方に迷惑だ。

先生は早く行かなければいけないが、親の方でも子供をあまり早く出してよこしては先生方に御めいわくだという位の感じをもつて貰いたいな。ところで秋田さん、保育所の方の泊り込みですが、これは昼間保育所でもあるのですか。

秋田 それはあります。幼稚園と違つてあとにのこつて整理しなければな

らない仕事がありますから……

倉橋 それは一種の犠牲だが、若い先生方はそれを犠牲とは思わない程夢中になつてやつていらっしゃるでしょう。

秋田 私達はそういう勤務について家庭——先生方の家庭ですが、家庭の方に十分な理解をもつていたゞきたいと思うのです。先生方がそうでないと何か妙な割切れない気持ちになります。

倉橋 小学校の先生だつてそうぢやないですかね。女の先生の勤務に関する問題ですが、その先生の夫たる人が妻の任務に十分理解を持つてないと大変困る時がある。あの先生は朝おそい夕方は早くかえりたがる。それは夫たる人が理解があるかどうかということが多い。

山村 帰宅の時間の問題ですが、幼稚園の先生は未婚の人がおゝいので、夜あまりおそくはかえさせません。私達はなるべく早くかえしたいのですが仕事との関係で十時頃になる時もあります保育所とちがつて泊まる設備もありま

せんし……

倉橋 若い女の人は非常に感激しやすいので、夢中になつてやつてゐるけれども、それが三百六十五日つゞくという事になると考えなくちゃいけない。エネルギーの物すごい消耗になる。自分本位というといけないけれども、適当に自愛、自重するという事も大切です。

山村 併設の幼稚園の園長さんで、そういうた点を非常に心配しておられる方が多いようです。

倉橋 ありがたい事だといおう。何でもかんでも遅くまでのこるということとを、機械的に奨励するというようなのはいかなね。

山村 私は「二度とかえらざる青春のために」幼稚園の先生方に、いゝ意味でもつと遊んでほしいと思う時があるのです。リクリエーション的なものを日常生活にとり入れなけりやあとと思うのですが……

倉橋 話のわかる指導主事さんでう

れしいね(笑)

先生方の家庭指導

倉橋 次に先生方の健康の問題ですが他の職業と比べて秋田さん、この点はどうでしょう。

秋田 そういう点で、保育所の方は健康に対する配慮という事を思つてもそれを貰きえないというのが実情ぢやありませんかしら。一寸問題がもとえ戻りますが、保育所の大きい仕事として家庭指導ということがあります。極く重要なことです。子供をあづかつてその母親は保育所に子供をあづけてしまふと、もう一〇〇パーセントよりかゝつてしまふのですね。

倉橋 ある本にこういう事をかいてあるのをよんだ事がある。保育所——当時は托児所といつたんですが、「母親をして頼らしむる勿れ」とね。味わうべき言葉だと思ふんです。

山村 幼稚園も大いにその傾向があります。しかし、たとえ、いやがられ

てもしなければならぬ時もあります。

倉橋 保育所の方では、お母さん方は、何もかも保育所に任せつばなしでいるというわけのものでもないでしょう。要するに忙わしいから行き届かないのだと考えなけりやならない面もあるのです。忙わしくて子供を見てやれないけれど気持の上では子供の事を思つてゐるぢやないか。たゞ時間と経費の問題で、その思いを實現出来ないのだ。結果的に事実的に手が廻らないのだ。

秋田 教養が低いために、その思いやりが真の愛情となつて現われない。

山村 幼稚園の方だつて、夫婦で働らきに出るから子供をあづけるというのがあります。

倉橋 どつちにしても幼稚園だつて保育所だつて、子供を通じて家庭を指導しなければならぬという点では同じことだ。子供と家庭とは離して考えられないことだ。

山村 最近、幼稚園ではそういうことの指導のために、一定の期間子供に

ついで、先生の見るところと、父兄の
見るところを記録にとつて、その結果
を見るというような事が、日本橋のあ
る幼稚園で行われましたが、いゝこと
だと思ひます。

倉橋 とにかく幼稚園、保育所の先
生方の努力は大変なものだ。先生方
は、それでも個中の快樂というか、何と
いうか、その激しい努力の中に、保育
という仕事のたのしみを見、よるこび
を発見していられるに相違ないが、非
常な疲労はお察しせずにはられない。
ところで、それにかゝらず待遇の問
題はどうでしょうか、先生方はそうい
う事を考えない程夢中になつて努力し
ておられるか知らんが、實際問題とし
てはどうです。

先生方の待遇について

山村 幼稚園は最近小学校の先生と
同様になりました。よるこんでます。
しかし勿論、だまつていてこうなつた
わけじゃありませんけれど……

倉橋 初任給はどの位なんです。

山村 大抵五千円から五千五百円と
いつたところですよ。扶養家族により差
異は勿論ありますけれど……

倉橋 出身学校による別はあります
か。

山村 勤務年数によるんです。

秋田 私の方は経歴、経験年数は加
算されます。今やつてる方ではなく、
前の保育養成所を出た人の例ですと、
大体四千五百円から五千円位、もつと
も保育所は幼稚園とちがい超過勤務に
よる特別手当が多いですが……。仕事
の質は幼稚園と大差ないかも知れませ
んが、量的にみた場合、御気の毒とい
う感じがすね。

倉橋 秋田さんは保育所の先生方の
又山村さんは幼稚園の先生方の、それ
ゝ待遇をよくするようにしつかり頑
張つて下さい。ところで、他の職業に
対する関係はどうでしょう。

秋田 他の職業、例えば最も一般的
な会社の事務員なんかと比べるとたし

かに少ないじゃありませんか。

倉橋 幼稚園の方はどうです。

山村 同じようなことはあります。
会社ですと本俸の外に色々な給与があ
るでしょう。それがないのですから。

倉橋 それは職業の性質がちがうの
だから、本当をいえば、比較することは
合理的でないともいえます。大体、
その仕事を選んだという時に、それに
対する観念が出来ていなくてはならな
いわけだ。然し、日本全体としてみた
場合に、そういう事はどうか。

秋田 会社づとめの人と比べた場合
幼稚園や保育所の給料は安いのでから
何といえますか、みりりのいゝ方にひ
かれるということも、一応人情の自然
でしょうね。

山村 幼稚園の先生が、保育所の先
生になりたくないというのも、又、そ
の人情の自然ということでしょうね。
時間を比べたら保育所の方は待遇がわ
るいといえましょうから。

秋田 又一方、そう物質的に考えな

くとも、教養の時間とか、健康だとかの面において自信があるかないかという点も御座いましょう。

倉橋 このごろ教職に従事する人達について、その健康の問題が真剣に考えられるようになったのは大変よろこばしいが、これは重大なことですよ。親が子供をそだてるために、自分の健康をかえりみないというのはわからぬことはない。しかし世間が子供をあづける場合、他のことは仕方がないという面もあるとして、それをあづかつた者の健康を害するというような仕方であづけるということは重大な問題だ。保育所の先生方が、こういう病気にかかりやすいというようなことがありますか。

先生方の健康について

秋田 保育所に働らく先生方が倒れた場合の施設があるんですが、そこに ついてみますと神経性のものと、結核性のものが一番多いですね。それで

昨年休んでいる人達のデーターをとつたんですが、これは給料の問題もあるにはありますが、それよりも時間的な交代制という事が真剣に考えられなければならないと思います。倒れた人があつたらすぐそれを他の人が行つて埋める。先生のブルのようなものがないと困ると思いました。

倉橋 小学校の先生についてはあるでしょう。

山村 お産代教といつたものですか幼稚園の先生については、以前はそうでもありませんでしたが、この一年、結核というのではないが長期に休む人がふえました。

倉橋 女の若い先生で、人の奥さんであるという場合、お産の問題を当然のこととして考えないというのはどうかしてますね。これは極端な例だろうけれど、あの先生はお産をして困るというような事をいう人がある（笑）しかし秋田さん、この仕事に従事する先生方の何パーセントかと結核になると

いう事を考えるのはつらい事だ。

秋田 本当につらいと思います。でも私はこれもあるんです、大体今の若い先生方の育つて来た時が、丁度戦争中で、乏しい食糧の中でそだつて来たその影響もあるんじゃないかと……

倉橋 そういう事もあるかも知らん。これは日本の大問題です。しかしそういう工合に社会事象として因果の法則みたいに考えてみたところで事実はどうにもなりません。

統計を社会医学がつくるといふようなことではない。とにかくにも医療が大切だ。早期発見——この早期発見という事も、早期に発見したというだけでは何の意味もない、発見したつて仕様がな。早期に手当をする事だ。これが出来るか出来ぬか。

休養・レクリエーション

秋田 保育所の方はその点出来ません
山村 幼稚園の方は義務教育じゃないからそうは行きません、共済組合と

か保健組合とかは利用出来ませんが。

倉橋 義務教育にならねば解決されないという事では困る。

山村 色々やつてはいるんですが。

秋田 何ヶ月休めますか。

山村 三ヶ月です。

秋田 私の方は丸一年、一年たつて又一寸出て来てハシコを押せば又一年のびます。

山村 それは私の方も同じです。

秋田 しかし三ヶ月というのは少ないですね。

山村 そんな事は園長会なんかの大きな仕事なんです。

倉橋 国の子供をあづかつてくれているんだ。国、社会で、先生方を保障する、もつとすゝんだ方法がとられなくちやいけませんね。

山村 小学校の先生方はいゝですよ
倉橋 それで、何でもない時の俸給とか、病氣した場合の待遇とか、それはわかりますが、その外に社会がどうでしょう。教育者に対して十分にむ

くいているか。いないというのは、通説ですが、その中でも特に幼稚園、保育所はどうであるうかということなんですが……。

自分の子供をあづけているという場合、小さい子供の場合の方が、親達が感謝する度合がつよい。それが上に行く程うすくなる。そういうた場合に、親達から最も感謝されなければならぬ小さい子供をあづかつている先生方の中で、結核にたおれる人がいるというようなこと、別の面からいえば、結核にたおれる程、自分の身を犠牲にして働らいて働らきぬいて、しかも、それに対する世間の感じというものが、一体どうであるうかと考える時、僕ははげしいきどおりを感じるのだ。

山村 幼稚園というものに対する世間の感じ方は以前と大分ちがつて来ました。子供を一人幼稚園に入れると、つゞいて二人、三人と上げるようです。たしかに違つて来た。

倉橋 それは幼稚園教育にたいする

必要性がみとめられたということとは問題は別です。

山村 一緒になつてゐるじやありませんか。

倉橋 必ずしもそうとはいへませんがね。これについて思い出すことがあります。僕はかつて——ずつと昔、東京都の先生方の前で話をしたことがある。私の前に内務部長をしていた何とかいう人が話をしたが、激しい言葉で先生方は、もつとしつかりやれ、こんな事ではだめだと激励してた。その時僕はアメリカで、向うの先生方の待遇を見て来たあとであつたので、年も若かつたし、それに反対するようなことをいつた。日本の先生が向うの先生のようにでないのは、乗物の影響という事があるのかも知れん。登校してから使う椅子だつて、壁の色だつて違ふのだ。激励されるのはいゝがアメリカのような社会環境の下にある先生方の例を簡単にひいて貰つては困るというような事を話した。そしたらその先生は

おこつて、そういう事をいうから教育が進歩しないのだ。と喧嘩みたいな事になつたが(笑)僕は甘いといわれるかも知らんが、日本ではもつと先生を大切にしなければいけないと思つてゐる。

秋田 私達は自分達の仕事の重要性を強調するが、世間では案外それ程に思わないじやないかしら。その世界の中にあつて、その仕事の重要性を強調してもそう効果はないかも知れませんね。

倉橋 あんまり謙遜ばかりしていてもいけない。といつて威張るのは下等だけれど、要はプライドという事が大切なな。

教養の問題

倉橋 プライドの問題は問題としてまづ何よりも健康ですね、健康で日々の仕事をチャン／＼とやるという事が大切だ。

山村 朝はおそい、研究会にも出ない、どうしたのときくと、身体の不都合

がわるくつてという人がいます。いつきいても身体がわるいという。こんな人には困ります。

倉橋 保育者の健康については社会がいたわつてくれるかどうか別問題として、建前として、自分としてはどこまでも任務に忠実に尽すという気魄と信念でやるのでなければならぬ。これは矛盾しませんね。又、プライド論になるが、教養のないプライドなんて三文の値打ちもない。人間は教養の世界に生きる生物だ。殊に先生は教養というものを頼る以外に何があるか。ところで實際問題としてどうでしょう。

山村 余裕があるかないかの問題ですね。

秋田 私の方の事を申し上げますと、戦争後一時、保育所の先生の質が大変おちた時があります。婦人が他の職業戦線に進出して、保育所には中々来ないのです。だから、保育所としては、人が足りないものだから、質のよしあしなど深く問はないで採るより外な

つたんですが、その後、最近になつて婦人が色々な仕事から閉め出しを喰つて、婦人独特の仕事に又もどつて来ました。昨年頃から保育所志願の婦人が大分殖えて来ているのですが、これはよろこぶべき事か、悲しむべき事かわかりませんけれども、保育所の側からいえば、それだけ選択の余地が出て、いゝものをとれるという事になつたわけです。

倉橋 若干空想的になるけれども、教養というものは、そのために特別な時間が要するというわけのものではないともいえる。天真爛漫な子供にふれておのづから感得体得するものが教養だといえる。しかし、教養には時間のよゆうもいる。若し教養のために特別の時間をもつことが許されないとすると、どうしてもその施設の内部において、つとめながら得られる教養の工夫というものを考えるければいけない。やないか。そうすると、例えばあの保育所は、忙わしいけれども、あそこに

はい、ライブラリーがあるから行くというような事は夢かな。

山村 是非、そうありたいです。

倉橋 外国では園長さんが教養人である事が多い。名画、レコード、そういうものを介して、若い人の教養を促進するという事が考えられてるんですね。本当にそれがリクリエーションの意味でもあると思う。日本ではレコードのない幼稚園が多い。蓄音機があればそれに端唄を連想し、浪花節を考えなくなつていいだろう。子供のための教具として必要なことは言うまでもないとして、同時にそこに働らいている若い人のために、という事がもちと考えられていいではないか。

山村 秋田 確にその通りです。

先生養成の問題

倉橋 最後に先生の養成のことですが、保育という事は永遠の事業である。あとから、あとからとよい先生を送り出して上げなければいけない。現

職教育ということも勿論大切にしたいが、養成の問題こそ大事だといえるではないか。そこで秋田さん、幼稚園の方は大体わかつてるが、厚生省関係ではどうなんですか。

秋田 今ある方法は、新制高校を出てから二年勉強して資格をとる方法と別に一年に一回試験をして資格をとる方法と二種類あります。

倉橋 検定制度ですね。

秋田 この二つの制度はしばらく今後もつゞくと思います。ところで、先生の呼び名ですが、幼稚園の方は教諭といいますが、保育所の方は保母という。これがおかしいというんです。何しろ保母というのは下は零歳から上は十八歳までの児童を保育するということですから。

倉橋 しかし保育所保母というんじゃないですか。

秋田 教諭も中学校までつゞきます。しかし保母はどの段階でも間にあるのでなければ保母といわない。それ

でなければ保母じゃないというんです。

倉橋 それは、教育ということ、ケーアという事の差異じゃないかと思う。教育ということになると相手の年齢によつてちがつてくるという事は自然だ。しかしケーアとなれば共通したものがあるのではないか。

秋田 ケーアといつたつて、その中には年齢的なもの、心理的生理的発達段階に應じたものがあるはずじゃありませんかしら。

倉橋 あなたの考え方に賛成だ。

秋田 矛盾する……

倉橋 ……如きもそれに大賛成だ。

(笑)

秋田 そこで養成のための科目のことですが、山村さんどんなですか。幼稚園の方は……

山村 規則はあるが行われていません。凡て臨時的なものです。

倉橋 細い話は又別にするとして、大ざっぱに秋田さん、保育所の先生方

の養成について、幼稚園の先生の養成と比べて、これだけ少くてよいと思うような事がありますか。又はこれだけプラスせねばならぬと思うものがありますか。

秋田 何しろウエイトが違うのですから、教育とケーアの違いから、必然に五の比重でとられるものと、二の比重でとられるものと、当然に考えられていゝわけです。しかしどつちにあつて、どつちになくていゝというものはないと思います。

倉橋 づまりこうでしょう。保育学に保育社会学がはいらなければいけないというのは、これは一般論としていえる事だ。しかし特殊な社会事業としての保育所の先生になるというのに、社会事業の徹底した理解が必要だということは殊にいえます。保育所が自由契約の児童を多くとりあつかつてゐる間は、社会事業的観念はそう多くないといえるかも知らんが、しかし福祉事業社会事業といつた場合、それは非

常に重んじられなければいけないかという事でしよう。

秋田 そういつたことです。社会事業概論、グループワーク、ケース・ワーク、精神衛生どいつた面に非常に大幅にとられてゐます。他に身体的な問題があります。保育所の児童は、からだの工合がわるいといつても、すぐかえせぬ場合がおゝいのです。そのためこそなえて看護という事が考えられます。それから給食に関連して栄養が考えられるといつた風です。

倉橋 幼稚園の方は失業問題について、家庭に対して社会事業的知識がなければ子供をうけ入れられぬといつた点がありませんでしよう。しかし保育所の方はちがう。保育所の方は失業問題、貧窮問題などがしつかり理解研究されてゐなくては正しい仕事はできない。それも気の毒だとか、困つたものだとかいつたセンチメンタリズムに止まつてゐることは許されない。もつと突込で行かなけりやいけない、現在の

保育所が社会観において十分燃えてないといふようなことが若しあるならば、それはたゞ個人的教育観に止まつてゐるからだと思ふ。コロンビア大学には社会学はあります。しかし本当に汗の匂いをする社会事業観は、そこからは出て来ない。それは、大学所属のスクール、オヴ、ソーシアル、ワークの方のことで、スクール・オブ・エデュケーションと併せてそこに僕は入りました。保育所の先生をやるという場合その深刻な考えがなかつたらだめだと思ふ。

秋田 吉見先生（厚生省保育課長）なんかケース・ワークを、センチメンタリズムでなくそれを突きぬけたところで解決して行こうとされてゐます。只今、先生が仰言つた保育所で社会事業観のもやし方が足りぬという点はある点同感です。しかしこういうことがあるんです。昔、托児所といわれた時代に、子供をあずかつた。その時は教育なんて事を考えなくたつてよかつ

た。たゞ遊ばせてやればよいという考
えて了。幼稚園より一段と下のクラ
スだと思つてました。社会が子供に色
をつけた。子供に二タいるないとい
うときに社会が色をつけました。それが
悲しかつたのです。社会事業観と同時
に、幼稚園と同じにやらなければいけ
ないという事を考えたのです。

倉橋 その他の教育制についてはど
ちらも共通です。その社会事業が社会
苦をもとにして、ことによつたらもつ
と深刻なものが生まれるかも知れぬ。
スクール・ティーチャーよりもつと深
いものが生れるかも知れぬ。

秋田 保育の文化性という面では、
幼稚園に一目おいてゐる事を卒直に認
めます。しかし愧しいとは思わない。

倉橋 保育所の先生はたゞ子供を愛
するといふだけの事ではつとまらな
い。そんな月並を超えなけりや。

山村 今仰言つたような事が深く行
われると、社会の尊敬もおのずと生れ
ると生れると思ひます。

秋田 戦争前の托児所の時は尊敬
されませんでした。

倉橋 幼稚園の先生でも、保育所の
先生でも、曰く教育学、曰く心理学、
といふことになつた。みな大切なこと
です。しかしそれらは極端にいへば保
育技術のためにすぎない。保育の本質
は又別だ。幼児心理学者は必ずしもよ
い保育者じやないのだ。それから幼稚
園でも保育所でもその先生を養成する
のに、学問知識が主になつて、ど
うも人間的にこれるきたえるという面
が少いよう。

山村 それはたしかにそうです。

倉橋 そんなことなら大学へ単位を
とりに通つたつていゝわけだ。ところ
で厚生省では国立の養成所が幾つあり
ましたかね。

秋田 国立というのはありませんが
都道府県に補助金を出して、公立のも
のをつくらせています。

倉橋 公立と国立と同じに考えてい
ゝですね。それから考えると文部省の

方はだめだ。

山村 実に薄弱です。義務教育でな
いためでしよう。

倉橋 僕はその方を先にすれば、義
務教育の方はひとりでにそうなると思
つてゐる位だ。厚生省関係の養成所の
数は、

秋田 前からあつたものが十三、新
らしく出来るものが八、

山村 文部省の方は凡て仮とか臨時
とかいう字がついてゐる。

秋田 数よりも内容が問題です。

倉橋 国立の幼稚園をいくつつくる
かといふことは勿論大切ですが。しかし
大きく考えると一つ一つの幼稚園が私
立だつて、一向に差し支へはないが、
たゞそこで働らく教員は、国がもう少し
し力を入れて養成せねばいかぬ。あん
まり遅くなると、両先生の過労になる
といけな。それにお歸りの夜道もある
し、此辺で打ち切りましよう。どうも
長くありがうございました。